

はまの や きゆうはまなかや
濱延舎(旧濱中屋)

[登録日]平成 29 年 8 月 23 日

美保関町美保関 296 番地

正面外観



正面外観【出桁・持ち送り梁】



側面内観【通用口 (カヤノクチ)】



- ◆ 建築年代：明治後期
- ◆ 構造：木造 2 階建
- 概要

この建物は港の入口にあたる美保関集落の東側に位置し、2 階からは美保湾が眺望でき、かつて北前船が入津した際には見張り所として、また水夫達をもてなす宴会場としても使用されたと言われています。

嘉永 7 年 (1854) の「みほのせきおやどわりちよう三保関御宿割帳」に船宿であった濱中屋の名称があり、明治 32 年 (1870) の「みほのせきいえなみず美保関家並図」で、現在の場所にあったことが伺えます。

北前船などの廻船の船宿であった濱中屋の面影を残すとともに、棧瓦や板壁を使用し、出桁や持ち送り梁といった美保関の町家の特徴をもつ、日本海沿いの海運の拠点であった美保関の歴史を語る上で貴重な建物です。

位置図

